

2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探究】

問題用紙 No. 1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 以下の文章を読み、各間に答えなさい。

仏教は6世紀に日本に伝来後、大きく発展し、経済面や政治面でも影響力を發揮するようになった。例えば、(1)(2)莊園も大寺社が保有する場合も多かった。11世紀後半に(3)院政が始まった。(4)院政期には大寺院は政治的にも勢力は大きかった。鎌倉時代になると、東大寺の再建などが行われたが、(5)寺院の建築様式は多様化した。室町時代には(6)鎌倉仏教は広く普及した。

問1 下線部(1)に関して、莊園の中でも寄進地系莊園はどのように成立したかを簡潔に説明せよ。

問2 下線部(2)に関して、莊園は不輸の権利や不入の権利を認められている場合が多いが、それぞれ、どのような権利であるのかを簡潔に説明せよ。

問3 下線部(3)に関して、院政において上皇は仏教とどのように関わったのかを簡潔に説明せよ。

問4 下線部(4)に関して、院政期の大寺院は具体的に朝廷に対して政治的にどのような行動を行ったのか、簡潔に説明せよ。

問5 下線部(5)に関して大仏様、禅宗様(唐様)、折衷様がこの時代の代表的な寺院の建築様式であるが、それぞれ、どのようなものであるか、簡潔に説明せよ。

問6 下線部(6)に関して鎌倉仏教の中でも、浄土真宗においては本願寺の蓮如は精力的な布教活動を行っていたが、どのような布教活動を行ったかを簡潔に説明せよ。

II. 以下の文章を読み、各間に答えなさい。

西南戦争後、激しいインフレーションが生じ、また、政府の財政も厳しくなったので、1881年に大蔵卿に就任した(①)は緊縮財政政策を行い、翌年には(②)として日本銀行を設立した。当時は、(③)貨が貿易だけでなく、国内での流通も認められていたが、1885年に日本銀行は(③)兌換紙幣を発行し、翌年からは政府紙幣の(③)兌換も開始し、(③)本位制が確立した。これによって物価が安定し、1886年から89年には鉄道や紡績を中心に会社設立ブーム、いわゆる最初の(④)が生じた。しかし、1890年には恐慌となり、この動きは挫折してしまった。日清戦争後は、政府は金融でも制度面の整備を進め、1897年には(⑤)法を制定し、金本位制を採用した。この時期には鉄道や紡績などで再び(④)が生じ、近代的な産業が確立した。金本位制の採用と同時期に設立された特殊銀行である(⑥)銀行は積極的に貿易金融に従事した。日本の産業革命の中心は綿糸を生産する(⑦)業であり、開港後は一時衰退したが、輸入綿糸を用いるようになり、綿織物業もある程度回復した。(⑦)業の発展は1883年に(⑧)らが設立した大阪(⑦)会社が大規模経営に成功したところから始まる。綿織物業では手織り機から(⑨)らが考案した小型の国產力織機への転換が進み、綿布輸出額も輸入額を上回るようになった。このように綿糸と綿織物の輸出は増加したが原料綿花は輸入に依存していたため、綿業貿易の輸入超過は続いていた。当時、外貨を獲得できていたのは国産の繭を原料としていた(⑩)業であった。

問 括弧内に当てはまる語句を記入せよ。

2025年度(令和7年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探究】

問題用紙 No. 2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

III. 以下の文章を読み、各間に答えなさい。

江戸幕府の9代将軍徳川家重のあと10代将軍家治の治世は、1772年に側用人から(a)となった(b)が十数年にわたり実権を握る時代だった。8代将軍吉宗によって行われた(c)の改革でも取り組まれた財政の再建に取り組むことになった(b)は、年貢の增收のみならず民間の経済活動を活発にさせることで、そこから生まれる富を活用しようとした。都市や農村の商人、職人の仲間を(d)として公認することで、運上などの営業税の增收を目指した。また、江戸や大阪の商人の力を借りて印旛沼などの大規模な干拓事業を始めるなどした。(1)(b)の政策は商人の力をを利用して、幕府財政の再建につなげようとしたものであった。しかし1786年、将軍家治が死去すると(b)はすぐに(a)を罷免されてしまい、多くの政策も中止となってしまった。

この時期、市中の米屋などが多数襲われる(e)が相次いでおこっていた。こうした状況のなか11代将軍家斉の補佐として(a)になったのが、白河藩主(f)であった。(f)は国内外の問題に対処するため幕政の改革を行った。農村の復興や(e)がおこった江戸の治安維持、ロシアなどの外国勢力に対応するための諸政策を実行していった。

村々を復興させようと陸奥や北関東などで百姓の他国への出稼ぎを制限したり、飢饉への対応として、各地で社倉・義倉を作らせて米穀を蓄える(g)がすすめられた。また江戸では町々に町費の節約をし、節約分の7割を積み立てさせる(h)を命じるなどした。さらに、朱子学を正学とし1790年に湯島聖堂の学問所で異学の講義や研究を禁じた。民間に対して出版統制令を出すなど、政治への風刺や批判を押さえようとした。(2)これら(f)による諸政策を(i)の改革と呼ぶ。

問1 (a)～(i)に入る名称を答えなさい。

問2 下線部(1)について、一連の政策は商人資本の活用など新しい面があった一方、どのような問題があったか説明しなさい。

問3 下線部(2)について、このような政治に対し民衆はどういうに反応したか、答えなさい。

IV. 以下の文章を読み、各間に答えなさい。

第1次世界大戦は国土が戦場にならなかった日本の経済に未曾有の(a)をもたらし、不況や政府の財政難を解消させた。日本は債務国から(b)へと転じ、正貨保有高も大きく伸びた。

大戦で世界的に船舶が不足したことで海運業や造船業は空前の好況となり(c)が続々と生まれ、国際競争力をを持つ産業となった。さらに鉄鋼業なども発達するなど、大戦は日本の(d)化が進むきっかけとなった。輸出の拡大に刺激された繊維産業では、(e)と呼ばれるような中国で現地工場を経営する紡績業が続出した。

この時期(d)化が進む一方、(f)制のもとでの農業の発展はにぶかった。金肥の普及や(g)などにより、単位面積当たりの生産量は増えたが、人口の都市への集中などから米の供給は不足がちであった。また1880年代からこの時期にかけて(h)地率は上昇傾向にあり、下層農民から(h)へと転落し、大地主が耕作から離れて(h)料に依存する(f)となる動きが進むなどしていた。そして1918年には富山県での騒動をきっかけに、東京や大阪をはじめ全国で70万人ほどを巻き込む大騒擾がおきた。

問1 (a)～(h)に入る語句を答えなさい。

問2 下線部について、なぜこの出来事が起きたのか説明しなさい。

2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探求】解答用紙 No. 1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

I.

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

II.

問 1

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____

⑥_____ ⑦_____ ⑧_____ ⑨_____ ⑩_____

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

*の欄は記入しないこと

2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探求】解答用紙 No. 2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

III.

問 1

(a) _____ (b) _____ (c) _____ (d) _____ (e) _____

(f) _____ (g) _____ (h) _____ (i) _____

問 2

問 3

IV.

問 1

(a) _____ (b) _____ (c) _____ (d) _____ (e) _____

(f) _____ (g) _____ (h) _____

問 2

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

*の欄は記入しないこと

2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探求】解答用紙 No. 1

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

I.

問 1

一定の領域を開発した開発領主が、国衙からの干渉を逃れるために所領を貴族や大寺社に寄進し、自らは荘官となり、
寄進を受けた荘園の領主が領家となるが、このようにして形成された荘園が寄進地系荘園と呼ばれている。

問 2

不輸の権利は官物や臨時雜役の免除を政府から認めてもらうことであり、不入の権利は検田使など国衙の使者の立ち入りを認めない特権である。

問 3

上皇は仏教を厚く信仰し、出家して法皇となり、六勝寺などの多くの大寺院を造営し、堂塔・仏像を作つて盛大な法会を行い、しばしば紀伊に熊野詣や高野詣を繰り返した。また、寺院に多くの荘園を寄進した。

問 4

大寺院も多くの荘園を所有し、武装した僧侶を僧兵として組織し、国司と争い、神木や神輿を先頭に立てて朝廷に強訴して、要求を通そうとした。

問 5

大仏様は、大陸的な雄大さ、豪放な力強さが特徴で、禅宗様(唐様)は細かな部材を組み合わせて整然とした美しさを表すのが特徴で、折衷様は大陸伝来の新様式を平安時代以来の日本的な柔らかな美しさを持つ和様に取り入れている。

問 6

蓮如は、阿弥陀仏の救いを信じれば、誰でも極楽往生が出来ることを平易な文章(御文)で説き、講を組織して、惣村に布教した。

II.

問 1

① 松方正義 ② 中央銀行 ③ 銀 ④ 企業勃興 ⑤ 貨幣
⑥ 横浜正金 ⑦ 紡績 ⑧ 渋沢栄一 ⑨ 豊田佐吉 ⑩ 製糸

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

*の欄は記入しないこと

2025 年度(令和 7 年度)一般選抜型選抜後期 地理歴史【歴史総合、日本史探求】解答用紙 No. 2

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

III.

問 1

- (a) 老中 (b) 田沼意次 (c) 享保 (d) 株仲間 (e) 打ちこわし
(f) 松平定信 (g) 囲米 (h) 七分積金 (i) 寛政

問 2

特権や地位を得ようとする商人や武士によって賄賂や縁故が横行するなどした。

問 3

民衆の不評を買い、反発を招いた

IV.

問 1

- (a) 大戦景気(好景気) (b) 債権国 (c) (船) 成金 (d) 重化学工業 (e) 在華紡
(f) 寄生地主 (g) 品種改良 (h) 小作

問 2

米価の高騰の要因の一つとして、米の投機的買占めや米穀商による売りおしみが考えられたから。

受 験 番 号		氏 名		*	*
------------------	--	--------	--	---	---

*の欄は記入しないこと